



エコアクション21
2019年

環境経営レポート

活動期間：2019年10月～2020年9月

未来に、今より美しい水を・・・



千葉県 白子海岸

エコアクション21

東昭化学株式会社 ・ 株式会社 カズサ

2020年12月6日

1-1. 東昭化学株式会社 組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

事業所名 東昭化学株式会社
代表者名 代表取締役 宮島昭夫
所在地 〒101-0025
東京都千代田区神田佐久間町2-7

2) 環境管理責任者及び連絡先

責任者 取締役営業部長 岡田好明
連絡先 T E L 03-3863-0831 (代)

3) 事業活動内容

化学工業薬品、医薬品の販売
劇物、毒物の販売
食品添加物の販売
医薬部外品の販売
化粧品の販売
高度管理医療機器等の販売業・賃貸業

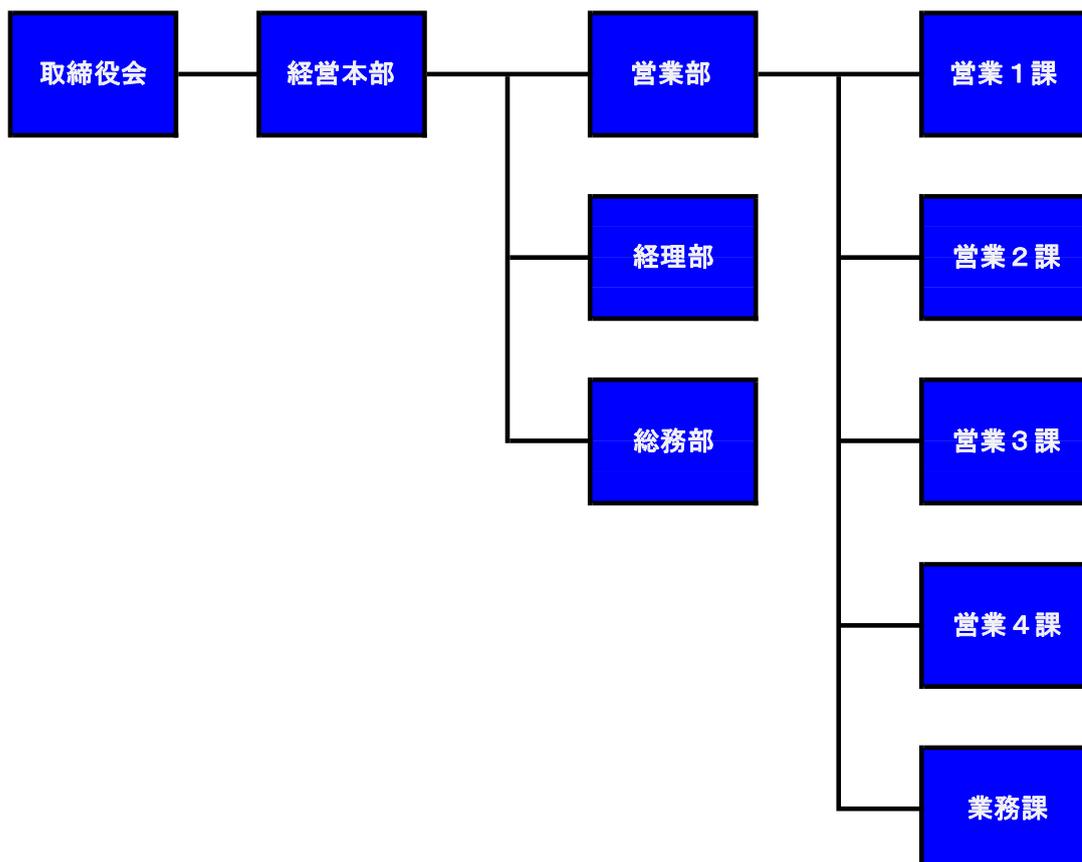
調理機器の販売業・賃貸業
水処理設備の販売業・賃貸業
物品の販売（日常生活品の販売）
賃貸業
清掃業
前各号に附帯する一切の業務

4) 事業規模

資本金 2,400万円
従業員数 27名
対象床面積 280平方メートル



5) 東昭化学株式会社 組織系統図



1-2. 株式会社カズサ 組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

事業所名	株式会社	カズサ
代表者名	代表取締役	宮島昭夫
所在地	本社・工場	〒299-4205 千葉県長生郡白子町南日当2-4-6
	東京営業所	〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2-7

2) 責任者及び連絡先

責任者	工場長	渡辺賢一
連絡先	TEL	0475-33-6417 (代)

3) 事業活動内容

化学工業薬品の製造及び販売
食品添加物の製造及び販売
医薬品の製造及び販売
劇物、毒物の製造及び販売

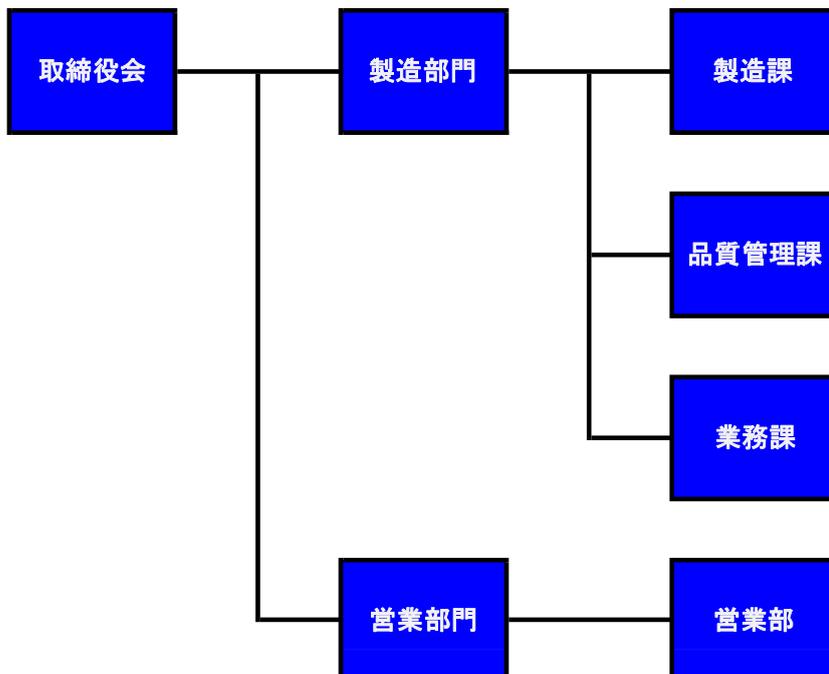
化粧品等の製造及び販売
医薬部外品の製造及び販売
前各号に附帯する一切の事業

4) 事業規模

資本金	2,400万円
従業員数	13名
対象床面積	3,400平方メートル (敷地) 1,259平方メートル (工場・事務所) 438平方メートル (倉庫)

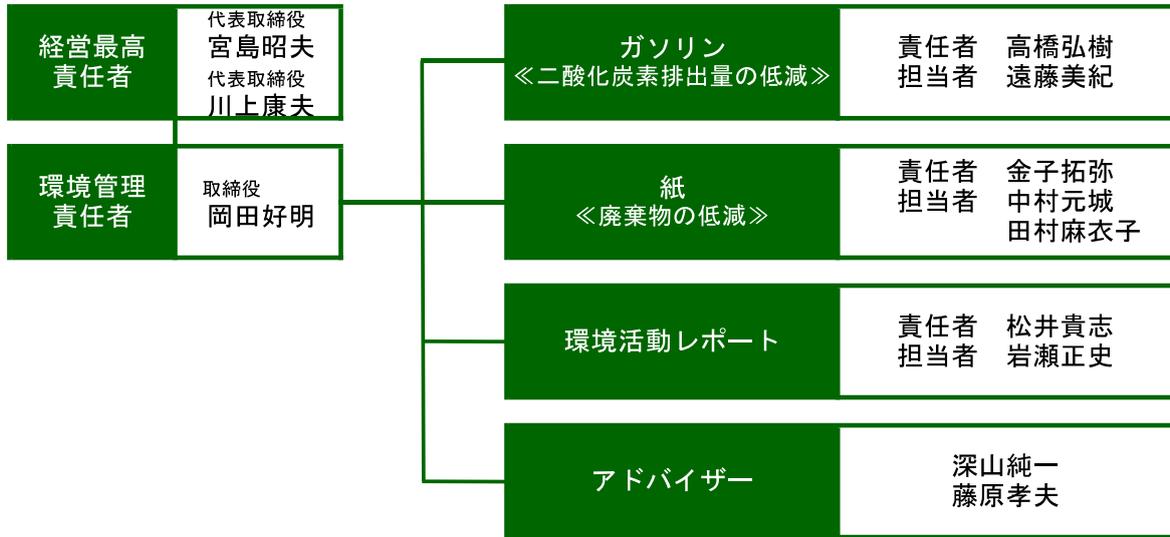


5) 株式会社 カズサ 組織系統図

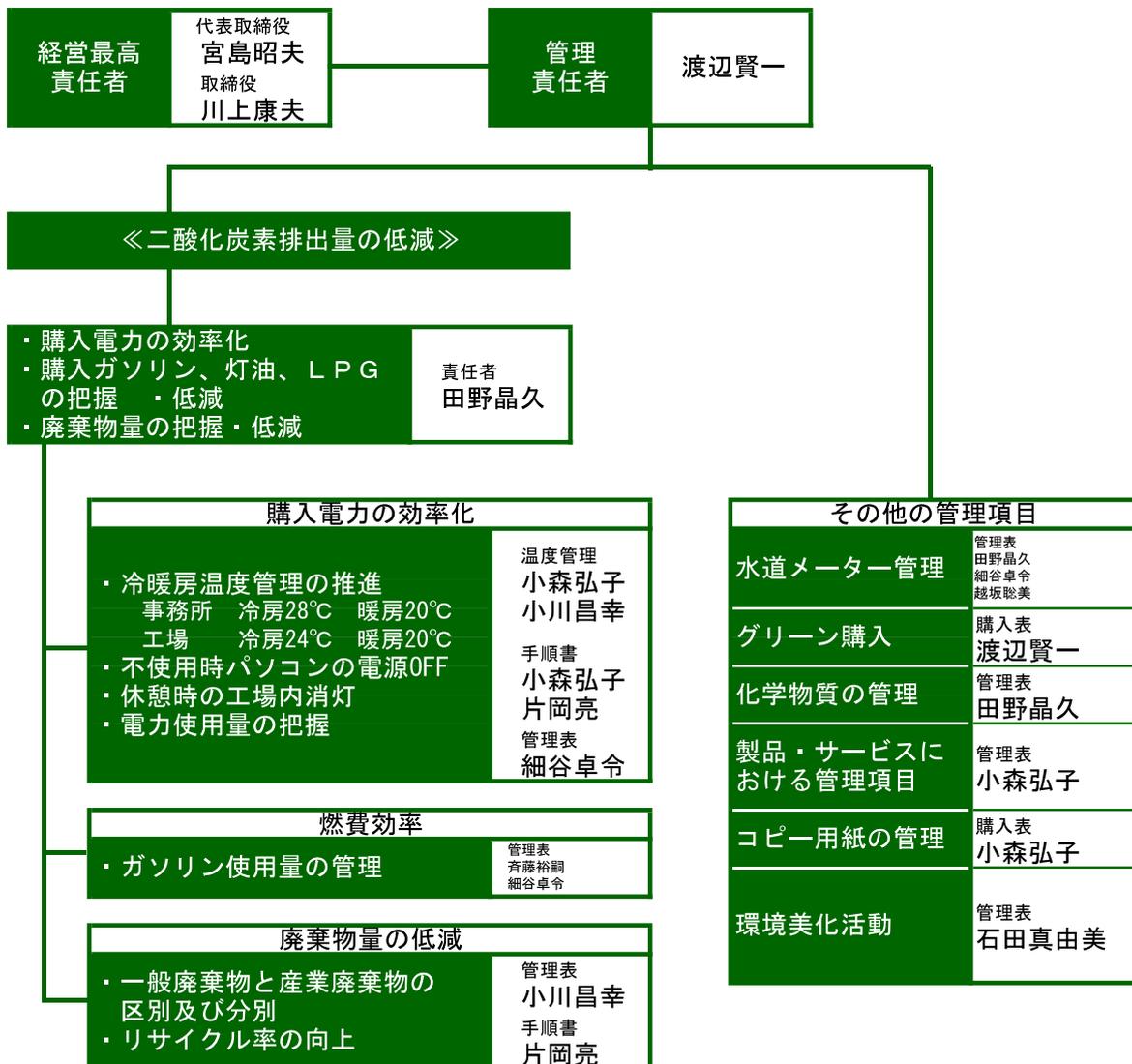


2. 実施体制

【東昭化学株式会社】



【株式会社 カズサ】



3. 環境経営方針

東昭化学株式会社及び株式会社カズサは、事業活動を通じ、地球環境の保全に最善を尽くすとともに、かかわりの深い「水」を大切にすることを常に考えながら次のことを実施していきます。

1. 環境関連法規の遵守

環境関連の法規制・基準及びその他の同意する要求事項を遵守します。

2. 省資源、省エネルギーの推進

限りある資源を保全するために、エネルギー消費量、廃棄物量の状況を把握しエネルギー消費の効率化を図り、廃棄物量の削減に努めます。

3. 環境マネジメントシステムの確立

環境経営方針達成のために、環境経営目標及び活動計画を定め環境マネジメントシステムの構築・運用と継続的改善に努めます。

4. 環境経営方針の周知と公表

環境経営方針を従業員全員に周知徹底するとともに、実施状況を環境経営レポートにまとめて公表します。

5. 化学物質の適正管理

化学物質を適正管理し、法令を遵守します。

2018年 10月 1日（改定）

東昭化学株式会社
代表取締役 宮島 昭夫

株式会社カズサ
代表取締役 宮島 昭夫

環境方針の履歴

2006年 9月15日（改定）
2008年 9月14日（改定）
2011年 9月15日（改定）
2016年 3月 8日（改定）
2018年10月 1日（改定）

4. 環境経営目標とその実績

1) 環境経営目標と実績

東昭化学(株)と(株)カズサはそれぞれ環境経営目標の項目を次のように掲げ2015年10月～2016年9月の実績値から2021年9月までに2.5%改善させる目標値を定め、調査と活動計画を実施しています。

※東昭化学は賃貸ビルに入居しているために、電気使用量、水使用量は把握できません。

東昭化学(株)	5か年計画 目標	2019年度 目標	2019年度 実績
二酸化炭素排出量 (KgCO ₂ /億円)	813.05	817.22	608.00
二酸化炭素排出総量 (KgCO ₂)	30,593.18	30,750.07	24,902.00
営業車燃費効率 (Km/ℓ)	11.46	11.40	14.88
廃棄物量 (kg)	1,227.53	1,233.82	1,153.10

- グリーン購入・化学物質の管理・製品サービス (E C O対応商品 41品目)

グリーン購入 : 事務用消耗品のエコ対応商品の購入推進

化学物質の管理 : SDSの整備、顧客への最新版の提供
(SDSをサーバーで管理)

製品・サービス : 営業車の効率的な走行と距離の把握
(走行距離 : 159,722^{km}・ガソリン10,734^ℓ)

(株)カズサ	5か年計画 目標	2019年度 目標	2019年度 実績
二酸化炭素排出総量 (KgCO ₂)	22,052	22,168	22,792 ※
購入電力の低減 (kwh)	33,307	33,483	34,096
ガソリン購入量 (ℓ)	2,274	2,285	2,166
廃棄物量 (t)	1.98	2.00	1.60
水使用量の削減 (m ³)	1514	1521	1584.7

※二酸化炭素排出係数に係る電力の排出係数に関しましては「登録番号A0149 グローバルエンジニアリングの0.522kgCO₂/kwh」を使用しています。

- グリーン購入・化学物質の管理・製品サービス

化学物質の管理 : 化学物質の漏洩防止管理の徹底、化学物質の適正保管

製品・サービス : 軽トラック、フォークリフトの効率的な走行

2018年度 軽トラック:1,754^{km}・フォークリフト:382.4h

2019年度 軽トラック:1,913^{km}・フォークリフト:436.3h (更新時一時3台稼働)

○ 2019年10月から2020年9月までの新たな取組

2016年10月よりスタートした新5か年計画の4年目にあたり、これまでの取組に対する活動意識の定着と行動力が試される1年でした。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による事業活動への影響も大きく急激な環境の変化に対応を求められる事業年度となりました。

東昭化学㈱では営業車の燃費効率向上のため、本年度もハイブリット車への更新を行いました。また、リモートワーク推進の為にFAX通信の完全ペーパーレス化に成功し紙の消費量だけではなく、インクの消費、機器の消耗の削減にも相乗効果が現れました。

㈱カズサではピークオーバーによる電力基本料金の増加に対し、機械類の始動を時間差で行い、瞬間的な上昇を防ぐ対策を実行しました。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、生産計画に大幅な変更が生じてしまいました。需要の急激な変化に対応すべく純水装置を追加導入し、その際に水量計を追加設置して正確な水の使用量を把握できるようになりました。

2) 主な取組み内容

○ 燃費効率の向上

東昭化学㈱

営業車の運転日報の管理を行い、日々の走行距離や使用状況を把握し、効率の良い営業活動を行う。

ハイブリット車等低燃費車の導入。

㈱カズサ

軽トラック、フォークリフトの走行の効率化を図る。

○ 廃棄物量の削減（ペーパーレスの推進）

発信するF a xはP C/F a xを積極的に使用する。

裏紙の積極的な利用。紙類の分別を徹底する。

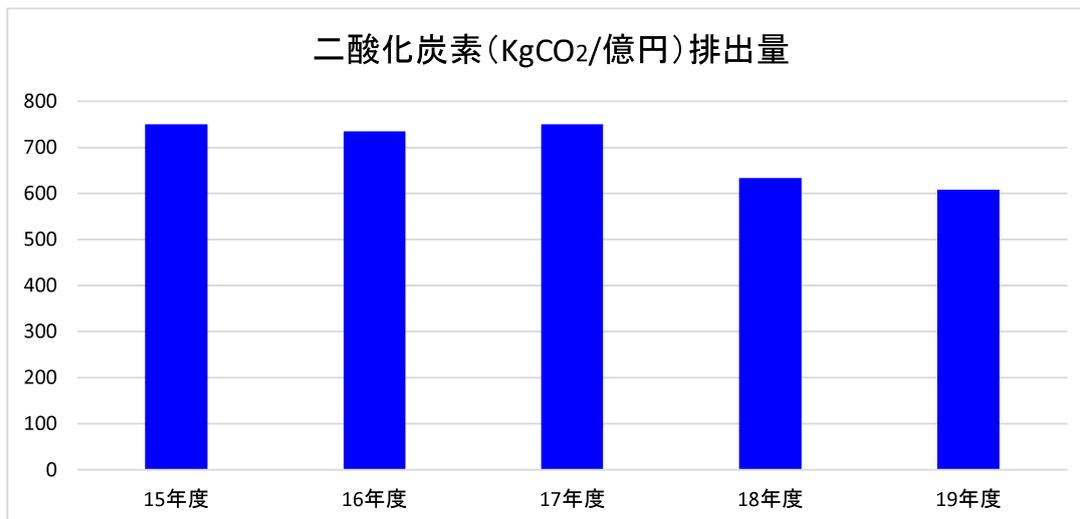
受発注業務の電子メール利用の推進。

省資源化のためにお取引先様にもご協力をお願いします。

3) 実績の推移

【東昭化学】

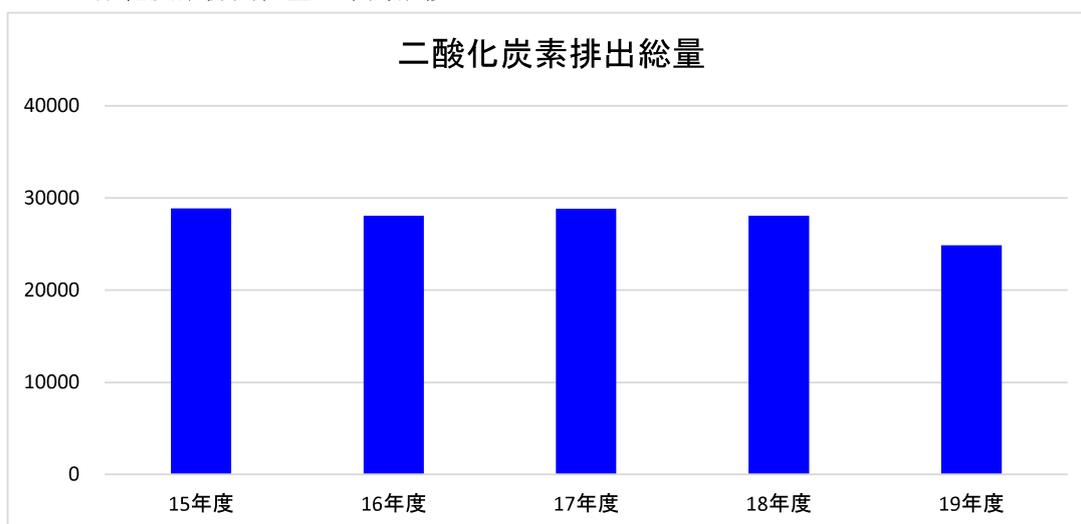
■二酸化炭素の排出量の年間推移



二酸化炭素 (KgCO₂/億円)

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
実績値	750.4	734.4	750.4	633.0	608.0
前年増減率	-	99.7%	102.2%	84.4%	96.0%
対前年評価	-	◎	×	◎	○

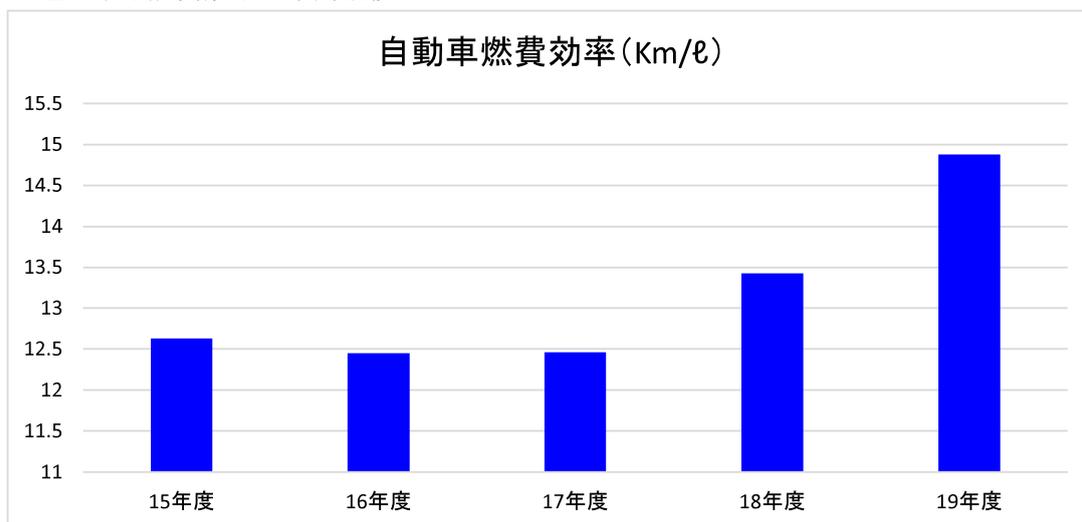
■二酸化炭素排出総量の年間推移



二酸化炭素排出総量(KgCO₂)

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
実績値	28,880	28,071	28,846	28,074	24,902
前年増減率	-	102.5%	97.2%	102.8%	97.3%
対前年評価	-	×	◎	×	◎

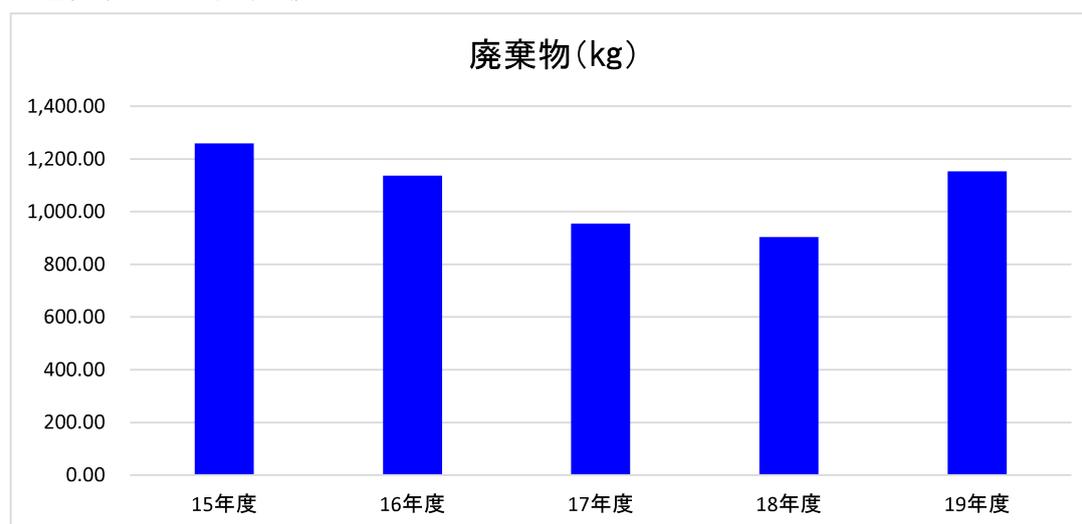
■自動車燃費効率の年間推移



燃費効率 (km/ℓ)

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
実績値	12.63	12.45	12.46	13.43	14.88
前年増減率	109.7%	98.6%	100.1%	107.8%	110.8%
対前年評価	◎	×	○	◎	◎

■廃棄物量の年間推移

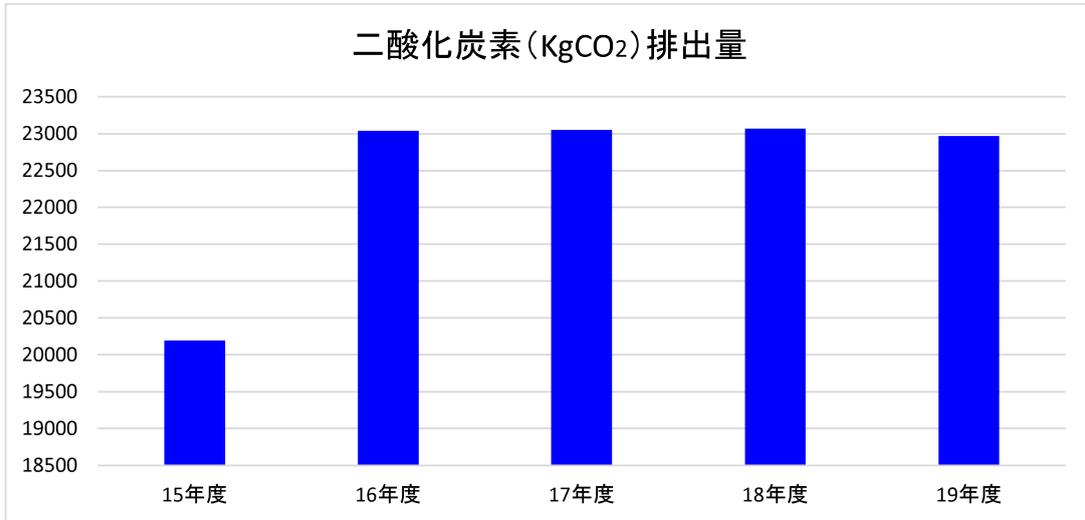


廃棄物 (kg)

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
実績値	1259	1137.9	955.1	904.4	1153.1
前年増減率	92.4%	90.4%	83.9%	94.7%	127.5%
対前年評価	◎	◎	◎	◎	△

【カズサ】

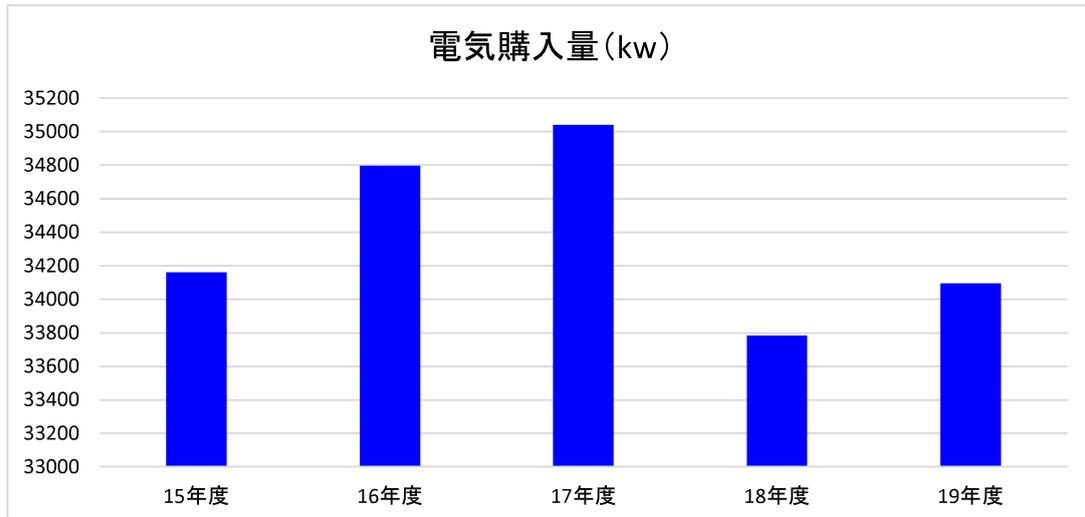
■二酸化炭素排出総量の年間推移



二酸化炭素 (KgCO₂)

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
実績値	20191	23037	23055	23071	22972
前年増減率	116.0%	114.1%	100.1%	100.1%	99.6%
対前年評価	×	×	×	×	◎

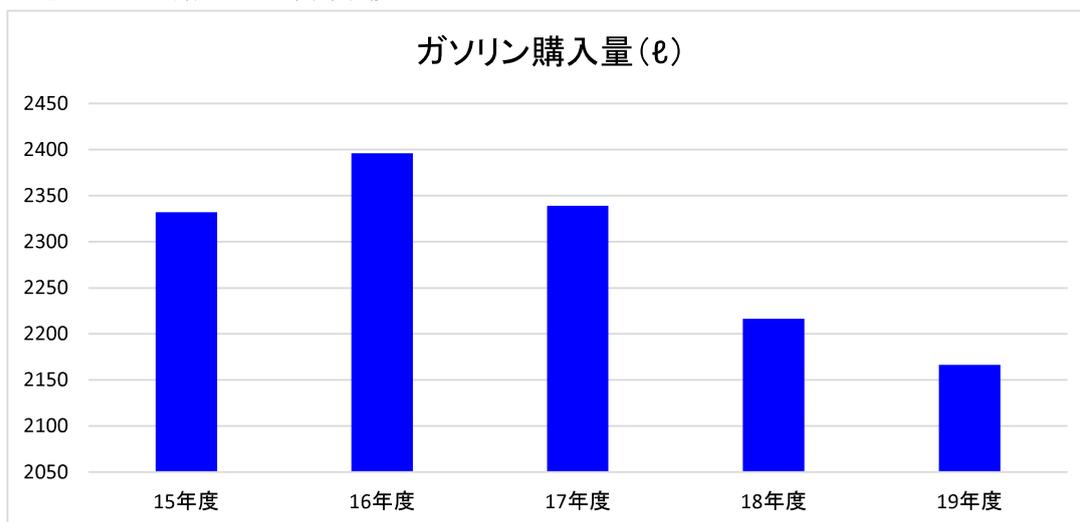
■電気購入量の年間推移



電気購入量 (kw)

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
実績値	34161	34797	35041	33784	34096
前年増減率	122.1%	101.9%	100.7%	96.4%	100.9%
対前年評価	×	×	×	○	△

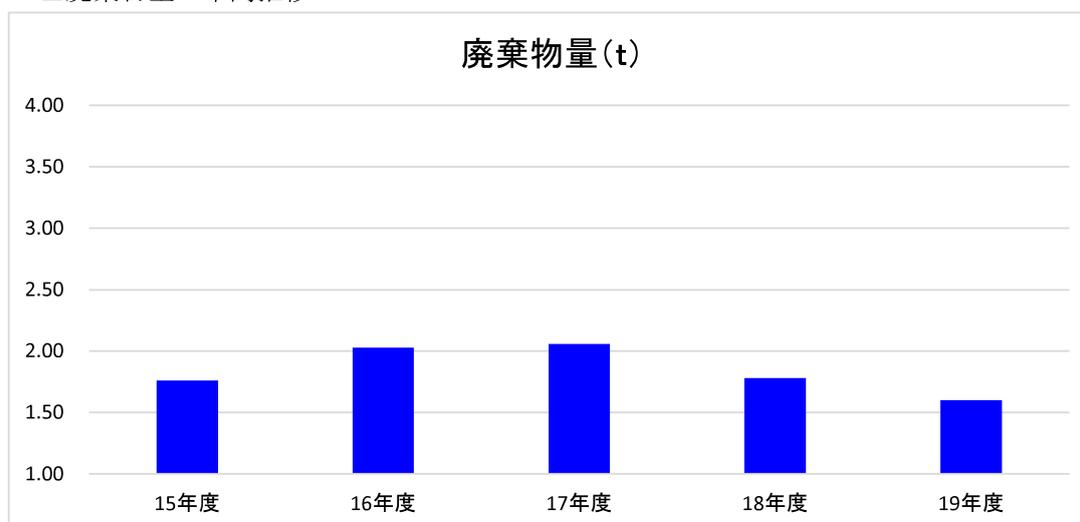
■ガソリン購入量の年間推移



ガソリン購入量 (ℓ)

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
実績値	2332	2396.2	2339.2	2216.1	2166.2
前年増減率	106.4%	102.8%	97.6%	94.7%	97.7%
対前年評価	×	×	◎	◎	◎

■廃棄物量の年間推移



廃棄物量 (t)

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
実績値	1.76	2.03	2.06	1.78	1.6
前年増減率	100.0%	115.3%	101.5%	86.4%	89.9%
対前年評価	△	×	×	◎	○

4) 環境活動の取組結果とその評価

【東昭化学株式会社】

- ①二酸化炭素排出量の削減
- 電力
東昭化学(株)の入居ビルでは契約上、電気代は家賃に含む一定額となっている。
しかし、環境教育の一環として積極的な消灯活動、
空調の適正温度管理を行っている。夜間、休日のP.Cの電源OFFを徹底している。
- ガソリン
今期も営業車を1台ハイブリッドカーに更新したことにより、
燃費効率の向上に寄与した。
- ②廃棄物排出量の削減
社内における廃棄物は紙類が中心であり、分別の徹底、紙コップの廃止、
帳票類のシステム変更による削減効果が表れている。
また、今後はFAXペーパーレス化の効果が期待できる。
- ③グリーン購入・リサイクルの推進
社内備品の購入に関しては、積極的にグリーン購入を行っている。
リサイクルに関してはペットボトルキャップの回収と寄付を行っている。
- ④環境関連法規の遵守
環境関連法令への違反なし。
- ⑤環境教育の推進
営業車を効率よく、安全に運行させるために出発前・後の点検や
運行記録を取って燃費に対する意識を高めるよう教育している。
また、社内業務においては紙資源への意識や電気の適正管理を
積極的に行っている。

【株式会社カズサ】

- ①二酸化炭素排出量の削減
- *電力
2018年度に29kwまで上がってしまった基本契約電力を工場設備の電源を
時間差で入れたり、短い時間内であればあえて電源を切らない事により
電力使用のピークを下げ、基本契約電力を26kwに抑える事ができた。
今年度より新製品製造の為に生産ラインが増加したことにより
電力消費量が増加し、年度目標は未達となった。
- *ガソリン
OEM次亜製品の製造増加によりフォークリフトの使用頻度は増加しているが、
効率的な使用によりガソリン使用量が平均化し、
現状の活動で十分な成果を上げている。
- ②廃棄物排出量の削減
年度目標を大幅に達成した。
要因としては出荷量低下に伴う荷札ゴミが減った事が挙げられる。
今年度保管期限の切れた資料、表記内容が変わり処分した製品ラベル等の
重量を廃棄前に記録したことにより細かな廃棄物の記録を取ることが出来た。
- ③リサイクルの推進
ワクチンキャップ運動の目的を周知し、キャップの回収を促進した。
プラドラムのリサイクルを検討したが
受け入れ業者を見つけるまでには至らなかった。
- ④環境関連法規の遵守
環境関連法令への違反なし。
- ⑤環境教育の推進
全社員にて環境活動を実施している。活動に関する担当をローテーションし、
広い視野で活動に取り組むよう指導している。

5) 取組結果を踏まえた2020年度の取組み目標は

【東昭化学株式会社】

①二酸化炭素排出量の削減

*電力

事務局員の交代により、取組に対する意識を浸透させていく。

空調の適正温度管理、昼休みの消灯、P.C電源の管理

*ガソリン

社内営業車を更新する際は低燃費車への変更を考慮する。

出張時にも低燃費車を使用するようにする。

また、エコドライブの徹底を図る。アイドリングストップの徹底

②廃棄物排出量の削減

複合機の機能を活用して更なるペーパーレス化（電子化）を推進する。

ミस्पプリントの防止、資料の電子化などで紙の使用量を抑制する。

③グリーン購入・リサイクルの推進

積極的にグリーン購入を推進。

紙類の分別を徹底して、リサイクルを推進。

④環境関連法規の遵守

化学物質を適正管理し、環境関連法規を遵守していく。

⑤環境教育の推進

全社員へ定期的にエコ活動における取組状況を通知する。

また、エコ委員による指導を行い、意識向上を目指す。

【株式会社カズサ】

①二酸化炭素排出量の削減

*電力

引き続き生産計画の見直しや工場内LED化による省電力を推進する。

*ガソリン

フォークリフト運転時間の集約、整備により燃費効率を向上させる。

②廃棄物排出量の削減

昨年度成果を上げたイレギュラーな一般可燃ごみの個別計量に加え、

産業廃棄物も可能な限りの個別計量により排出されるごみを特定し、

削減に繋げていく。

③グリーン購入・リサイクルの推進

ワクチンキャップ運動の継続。

現在、産業廃棄物として排出している原料プラドラムの

リサイクルも継続して受け入れ先を探していく。

④環境関連法規の順守

化学物質の適正保管、漏洩防止管理の徹底。

⑤環境教育の推進

新入社員への教育の実施。活動の担当をローテーションし、

定例会議で積極的に意見を出し合い、意識を高めた活動を行う。

⑥水使用量の把握

水使用量の削減を環境経営目標に加え、水使用量を把握し、

効率的な使用により削減に努める。

6) 代表者による全体評価と見直し

東昭化学(株)では今期も営業車のハイブリッド車への更新により、燃費効率が向上しガソリン使用量を減少することができました。

廃棄物量については9月に溶融処理を排出して、総排出量は増加してしまいましたが、紙コップ使用の完全廃止、紙類の分別徹底による再資源化、FAXのペーパーレス化で目標を達成することができました。

今期は新型コロナウイルス感染症の感染拡大で事業活動にも多大な影響がありました。しかしながら、リモート勤務対策などにより、急速に業務システムの改革が進み結果として、ペーパーレス化が加速し、紙の使用量が大幅に削減しました。

来期においてもこの経験を基に業務システムの効率化を推進してください。

(株)カズサでは今年度より新たな製品製造ラインが増え、新年度にはさらに新たな充填設備、分析機器の導入が予定されています。これが環境経営活動にどのような影響を及ぼすのか把握に努めて下さい。ガソリン購入量、廃棄物量とともに活動の成果が目標達成という結果に表れています。

新年度においては、引き続き従来の生産の更なる効率化を推進し、また新たな事業の効率的な手順を確立するよう努めて下さい。廃棄物の排出抑制のため原材料容器、梱包材、荷札シール台紙などの処理方法を検討してください。水の使用において無駄の無いよう使用量について把握して下さい。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、事業活動にも急激な変化が起り、リモート勤務推進への対応により業務の効率化が求められました。今後も効率化と確実性を両立させて、環境経営活動を推進してください。

(株)カズサでは2018年4月よりコンポストを導入し、生ごみからできたたい肥を工場入り口付近の花壇で使用しています。



【ワクチンキャップ運動への参加】

東昭化学(株)・(株)カズサは共同で、ワクチンキャップ運動を推進しております。社会貢献活動の一つとしてボトルのキャップを回収し、二酸化炭素の軽減と世界の子供たちのためのワクチン購入費を寄付する活動を支援しております。



〈ペットボトルキャップ回収結果〉
回収期間 (2019年10月1日～2020年9月30日)

	kg	個数
合計	11.9	5,117

品名	重量(kg)	個数	CO ₂ 削減効果(kg)
ペットボトルキャップ	7.8kg	4,354個	2.0本分
ペットボトルキャップ	4.1kg	1,763個	1.0本分
計	11.9kg	5,117個	3.0本分
合計	11.9kg	5,117個	3.0本分

東昭化学(株)と東昭化学(株)カズサは、環境にやさしい社会の実現に向けて、CO₂削減の取り組みを推進しています。回収されたキャップは、環境にやさしい社会の実現に向けて、CO₂削減の取り組みを推進しています。